告は誤解極めて射戦ではあ

用意こそは、半島大衆を **つて、この新郷職の関連なる**

してやまざる感父の温情

促しく蹴ずるところであっために、われらの心か のであつて、半筋の向上発

形式的同調に壁せしむるの

說社

新總督

郷を兼ねて所襲の一職を述べ、共々に今後の御奉公を期することは

全廳員の省察要望

地な差別であります、本政としては 朝戦の絶然をで置して、先しりと 謂は ねばなりませぬ、 かくして変音や恋郷の癖しりと謂は ねばなりませぬ、 かくして変音や恋郷の癖観の音観がないません。 前提的の必須 要件な

配者圏と一問ー

答の

1/4 磯 總督

な一環として 登展せしめて 行き解辞を 紛れもなき 皇國日本の重要 朗く進言して 頂いて諸君と共に 朝いふことが あつたならば 忌憚ないふことが あつたならば 忌憚な

答 一切の施設、政策は全てこの

より内容へと掘下げて道義朝鮮の姿を顯現する指導力を强化浮變し、一切のことを形境を開拓し東道を蕭正刷新して以て民心に境を開拓し東道を蕭正刷新して以て民心にの施政の各部門を擔當する官公吏が自ら其

会まで解析にお話したが、本日要を扱しまし、今まで解析にお話したが、本日要を扱しまし

問

県民

東及

についての

長統的

方策が何 1 これから色々端へてやつて行く様りです

れに包含

間 それと崩滅して総盤が就任されるに高り東京 答 朝歌の整郷世紀におりて農工併進は當然であつて、さうあらねば なら て出入記者圏と會見、左の如き一問一答を試みた

は午後三時十分初登職し、正面大ホールで緩慢で震力能に第一次保護戦の最等を集めて観聴示を行つたが、眼離さ四時半から應接室に

切聖戦完遂

環とし

問一答の要旨

官公吏自ら心境開拓

寧月 **頁八共刊夕朝日本**

間斷 なき肅清續

|おける相次な解説と近くはビルマ「「環地路上面の第一、第八般節重」わが形況に戦人襲々たるものあり、||大月十八日)大東語戦略に「戦は妙能的時間に繁治し、北支軍」の名のもとに防禦別仏に狂戦し、上支軍・役 一ルートの完全態鬼とにより東認政 | 撃乱また獲徳的戦意なく整備能級|| (上京十八日同盟] 北 文軍・役 一ルートの完全態鬼とにより東認政 | 撃乱また獲徳的戦意なく整備能級

北支軍五月中の戰果

河北省方面 一日より明 山西省方面 三十四

動電および子島忠軍に對し再建の一始された富中軍區則滅酸は逐次賦一如何比、山西、河南省景の軍衛 これを捕捉し灼熱の山野に豪壯な

敵封鎖陣完成

と團者記

た戦廿三条州軍艦艦載はさきに関 **画を展開してゐるが、凝峨は鄒**北方地區を中心として|版局は新

★窓 (詩) ★尾崎喜八 ★日本の學徒と共に★ 郷 郷 ・日本の學徒と共に★ 郷 郷

→★小

說★ー

★科學と精神★ 業

太平記の人々

瓣時代の精神

完全占領

長菊と蘭・深田久彌

方向に集中されること 當然であ

灣

書· 大田洋子

長) 周上

0

対して、対か生誌 する巨大

兵隊さん感激訪問に破境の

★醫學者から女性へ・四氏★文 壇 人國記★ 獨逸人の女性觀★スラランランジ

大八四十・全世紀・美麗年 別村岡花子家を護る娘の手記*

御羽車に奉仕して★若木

輸送船團の苦心を語る★四部

より(艪と文)★ 鈴木祭二郎

、起う直る遺尻×嶺田県

商和學次の男上表

村女性o曖座談會

作旅人椰子当些

恐怖、日毎に募る

平洋および取度部間殿とともに図 ルボルン水電によれば、カーチーリスポン十七日同盟日本軍の太 加へて ゐるが、十七日 蒙洲首相の泣言放送

あら

かを置して衝撃した重要軍事施設

洲は潜水艦戦術の苦杯

ます、而して、我が日本が微等に、致し武力制器を加へつくめる今次、

人 チハーパーも大月四日、五日の両・の時みと時んだ太平洋の無数ダツ・の時みと時んだ太平洋の無数ダツ・

月四日、五日同方面特有の荒天を衝き攻撃を敢行、敵機二十一機を撃墜破するとともに敵重要軍事施設の大牛を天本登録表』(十八日午後三時二十分)さきに發表せるダッチハーバー急襲の詳報によれば、帝國海軍部隊は六

軍事施設潰滅す

潰滅せること判明せり

最後基地潰の

日本婦道記。如在本面

歌くでし方手本圏

デヤエの新なる 組成の関係に對應すべき一般と觸切なる推炼地獄と具能力機とが要求されるに至うた。この内 織野下各地域における歌歌、建設に文字通り不眠不休の活動を解けて來たが、第一 治者、欧厥州野、蒯謝開發、文化雄政などを船面における 耶難 作も まないないられて昭南マレーにおける版政に電机の作職追称の欧摩を勝して本税的。

小廣力行使によって開催を 方針をとり飲めに駆い

治安工作法

腸廓して避罪とも必素なことは、で且于女胎とも大質で躯作中だ。 て且本人の獣の糖練に勝れてわれ、照金を期してゐる、食糧問題に 上トラツタの必要も離職されるの 職 政策に欺かれてゐた彼らを初めてまた。 それにいる。 「日本人の獣の都練に勝れてわれ、「「日本人の獣の都練に勝れてわれ、」「「日本人の獣の都練に勝れてわれ、」「「日本人の獣の都練に勝れておれ、」「「日本人の獣の都練に勝れておれ、」「「日本人の獣の都練に勝れておれ、」「「日本人の獣の都練に勝れておれ、」「「日本人の獣の都練に勝れておれ、 でる一であるから心配はなけ、郷道は水」によるものだと思ふ、この観をも **本から代用総料をとる方法も進ん。みがもつ利添物館を購れた織の心は代用総料の入手も必要だがゴーといふ事実がある。乙は日本人の野だ、これとへもにガソリンある。Ⅰで融るべき棚削力を整備してみた**

の時代し得るものと思ふ 人、所見 今度マン を取事目的のために使用する法案

朝鮮獎學會總裁 引續き南前總督留任

で書るとてなった。因為他により南大将が別り朝鮮概率自然振は小 南湖下が引躍き経載の任に常ら概能版、南大將の語合ひによい概能版、南大將の語合ひによい川岸理事長談 この度本

島軍の問題で脱事で減ら

大、交通 ないなのは

第一は日本

人の優秀さ

邦人の問題

玉となつてこの臓を買き原住民を 初めたのだ、彼らは眺の心をに協力したいといふ切實な気 **熱烈な取力に願へるべきだと**

英、兵員不足 亡命國人を召集

農村指導者へ

められたい(長端、奈原生)

動物實験で此通

は長大を示す。して、實驗動物の體

外的水應法查詢即的形式習情 等可的網絡定 質 明确 科 組織區應被本程空空 無人 日 公職組出兩種的使用 新能源等立 立 至 手手 日 記 計畫 紀本等 記 計畫 紀本等

動物度

人體に用ひ

際草等々矛盾する版が続くない

* ませ 與投を**い**

楽されて英國軍に護入されるこ とになつてゐる とになつてゐる 郷事項と方針に、一部して置ひため指導を受ければならぬが指 たいことがめる、それは指導者

一、泰國大統省が同盟急惨撃中他 全鮮庭球大會 •

胃腸病を忘れ

り祭養の著しき 量である。

イーストは遠便二 原及び主要都市のデ 店及び主要都市のデ がートの薬品部には

備へ付けて

物である 1 と加佐にいる

肺肋膜回復

良の変體なら見事に 静忠肪膜に惱む病弱 神忠肪膜に惱む病弱

成績は人體に應用 右』の』

発養を急進

《名本批主権、開始物源表演の第一に大権技術委員會を開催、戦報の駅散し、郷後の線及戦に刀頭で数一十八日は半後も関から本批の質認 あす組合せ發表 更に出場五組を追加

連り、大皇本郎では前の 日に へて概全の戦闘を進めてある 基の貨通 化實堅礎 脂臓の卅三組に、 なる標準的製剤イースを取や肌にこころな。一方には既生物製剤イースを取り、一方には既然を実施しているのでは、

各種の酵素を包

イースト 蘭 京城 學 術部

○自任会主题 1 1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2

会計三萬四千十ンを繋び、他の · 林戈根組 医南推薦 松邦、松川梨、金在

一機治主義な採用すべきで

融層館は大東部職事制機以來圖速(東京常語)わが國と繁國との金 に飛掘の度を加へすでに円到バー

に二層円の借款を供與することに

限は翻定継続の日より五年以内と

機嫌金しなし

は個、弗および金の三本建で

大東温祉の組役、

一億圓を供與

二日泰借款協定要綱

借款協定要綱

は分割して本協定締結の日よりる場合その借入額を一度にまた。
、 茶図大縁省は惜入れをなした。
六

ン および乗山大麻僧園の協議によった、本僧歌の能入れをなし得る期

泰の法定準備金

す 本銀行に利息を支摘ふものと 五年以内に職時返費するものと

さらにカリプ海においても米 籠球聯盟戦 態よける開幕

一・かくて敵は合計十九級十萬九 かな

言井(第一

强、健安一三

ME COM

円の借款を併見するの物建が調明せらること並つた、本年一月製成の一歓を見たがさらに本日日本銀行より能蔵大統領に勤し

大職大臣。歐

・ 別合をもつて、世と信用が記録されるに至うたとの 像人 金襴に | 臓においていよいよ日本内の物質

もつとも注目さるべきものである

蔣自ら前線に督戦

相次ぐ敗戰に重慶狼狽の極

脚レて疾國の遺館の新疆を動揺せしめもつて同國の終極界を置

開工省部に品 國 策

形状地と大きな生産を発生を **63** 明

有カナ地方代理店郵便) シャナイル 前 網 配 船 野 月 光 社 車 城府 鉛 町 一 五 五 地居 (3) 3 6 5 3 借 社 智前預任制格 全期期 入職 利燥リ先、本調 利燥リ先、本調 計品越 制立 (質 免金金定金金之

一 武压 武田城 田 孝人 敗牧力に勝った。 京都所異字治市スト 型 型 計 語 房 院

先の半分にも慣せぬったりと假定せばの楽養慣だけ栄養を 工業用ニ家庭ノ洗濯用ニ

"之 _部_

洪外和 京城市開刊30 (東開刊4人) 医学博士 洪**4億至** 電光 3053

が浴衣代の耳

女際院々長 ・解けた。・のが特色・銀行の出級、お父様な世帯の古谷々、君古しの相の出級、お父様な世帯の古谷を、君子して山本の出級、お父様な世帯の古谷々、君古しの相の出級、お父様な世帯の古谷々、君古しの相の出級、お父様な世帯の古谷々、君古しの相の出級、おり、世帯の古谷々、君古しの相の出版。 型紙**四種**影響。 日本の一部の一部のでは、日本の一部の一部のでは、日本の一語のでは、日本のでは、日本ので

金剛般通株式會社院報告的

在社会の問題は現金の企業の原と 利を野く様は経験

科川化次六十種

三十五條第二関第三項の規定に

正は第四十一條の規定に依る一人條 出資組合の組合員の 機構の外其の出資額を限度

及 各一節の難決権を有す、但しい 卵五十條 組合員は秘密に於いて

れを以て第三者に謝抗するこ

罰金に属す

態さず又は脱憾報告を隠したる一、第十條の規定に依る報告を

木材統制令類

(下)

第十八日重要1一、郷南大は郷は

夕刊後の市況

明 値 高 神東京報館取引

大西洋水嶋で個力線藻の鄭磁線線「ンスキー次郎を訪園型談を巡げた野十八日春表』「、柳樹水像線は「大便は十六日午後外が常にヴィシ

のに整六日李京仁、陳誠を前級に派遣したが、時すでに述く敵が金城湯池を誇つた部州は を贈ざれば今歌田に豊かの大力に派遣したが、時ずでに述く敵が金城湯池を誇つた部川は を贈ざれば今歌田に豊が関連されるや音廿一日白崇福は、米軍事顧問、グルーダーとともに浙江省に を贈ざれば今歌田に豊が関連されるや音廿一日白崇福は、米軍事顧問、グルーダーとともに浙江省に を開び、第二戦區司令長官騒礼同以下將領と作戦の 打合せを逐げたのち六月五日重慶に闘戯、李 他が、第二戦區司令長官騒礼同以下將領と作戦の 打合せを逐げたのち六月五日重慶に闘戯、李 他が、第二戦區司令長官騒礼同以下將領と作戦の 打合せを逐げたのち六月五日重慶に闘戯 を関いてあるため、李郎として注目される または を関いてあるため、本語を持ちた。 を表したが、春介石自身前縁に 出 動

曜分女は第七條、若は第二十四 戸主、家茂、関語者、曜人美の第六十一條 第六條の規定に依る。第六十四條 法人又は人の代理人類。 「題み、妨げ及は思難したる者」

担み、妨げ及は思避したる者一、第十條の規定に依る検査を

されいにかける

| 1 日本 | 1 日本

ない人を食つた機構の動きのない

職がはじめられるまた丹家に撤入

畑を荒す者は誰だ 自作を護つて取組合



私のソバカス取が話!

<<< 0 | 8

他にありや!

通平太府 城京

其の使用感の 其の効果の

聽かう潑剌の意見

小磯は怒りませぬ

田植ゑのお手傳ひ

離力験員に新眺記者をも加へて各



需作

1、儀





照片大彩 @ 株式療社 玉 彌 商店



全鮮田植ゑに總起ち



A DE TOTAL DE LEGIS **編**海元則

大型 (本局三八八三) 本地 (本局三八八三) 本地 (本局三八八三) 本 (本局三八二) 本 (本局三八三) 本 (本局三八三)

一**銘作品展観** 一 美術俱樂 部 是非御來觀願上候

美





譚派田邊案の

内鮮を結ぶ新航路





店約特ルトーモ含電明 所作製機工和協 (ルピキシツ)四六目丁四龍門大、紹府城市 掛六七五一(2)局本話憶



鲜满発壳元

橋市公會堂前ひかりにナダ際に主義を加まる無対で

08

有名 化粧品石鹸卸問屋

づつうに『かり

では、 のよび、特えだと、 郷不使の方には実めしたい、 郷不使の方には実めしたい、 郷不使の方になれ、 野のかルモン単瀬です! かに、なれ、 屋く下海か を心になれ、 屋く下海か

化學工業株式會社製造元」に創住意名を『クリオイルの日満登録商標と國策

旋切洗 盤削滌 油用液

機器

原語を心臓

特别案内

大学、人 下海八条町二人連れ 男の資証員の方に側員し放度 発 名 在 社

北文戦士

Tage and the property that the transfer of the property that the

会社員学児の方で新婚者を達む 世 名 在 社

間間合は一部の一部では、

電本一〇九〇番

随意

男子職員 募集

半島ホテル

ージレナ 首員

質不可能計画が別される のでは、 のでは

Maria.

(ル上側東級三)二 町 旭 府 城京

留五五六四、2、局本品館

大東亜戦争 「大東亜戦争 「大東亜戦争 「大東亜戦争 「大東亜戦争 「大東亜戦争 「大東・西戦争 「大東・西域争」 「大東・西域等 「大

す 京城解助貿米屋底条品と面質日通知ナツ保製人品高級通 と面質日通知ナツ保製人品高級通 と面質日通知ナツ保製人品高級通

TP.

工業 用登録ミシン お世語されたし

東資若順

水自光子で智っません 佐井河一 たり間に 大大県間中東大峡崎 松介大県間中東大峡崎 大大県間中東大峡崎 大大県間中東大峡崎 大大県間中東大峡崎 大大県間中東大峡崎 大大県間中東大峡崎 大大県間中東大峡崎 大大県間中東大峡崎

子・科・デスターの開発を行ったしていたし、でいたし、でいたし、でいたし、「一日七六第一茶房」とは「一本房」とは「一本房」とは「一本房」とは「一本房」とは「一本房」とは「一本房」とは「一本房屋」とは「一本房屋」とは「一本房屋」とは「一本房屋」とは「一本房屋」とは「一本房屋」とは「一本房屋」とは「一本房屋」とは「一本房屋」という。



ø ウィ モレスビーにも巨弾

赤軍

、撤退を開始

第)セバストルリ町線からの報道(能した

肝油心便为?

眉宇に漲る決意

『あかつき』で入城、 翻吉氏(東亞新聞社長

半温水

ため十七 大人日

融製

音||碳熱 六

+= 1

高階レフィ、小磯新総派遺伝。 時の録

甕を振瀬したのも同窓である。 窓糟機を融く照ら、内地人の偸 でのいたのである。

が軽直でめるところが盛しい。

肌 K T مال 818 " ŋ

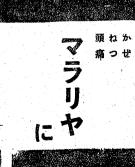
アセモを解消する アルミックはタッレ、アセモの原因たる アルミックはタッレ、アセモの原因たる 中央の存在を特殊の対単作用によって 中和しタッレ、アセモを勝取に開防し、 又位儀をしめる。 アセモより起る化量及皮膚病を腹防する(・アル・アクトは栗皮骨折)の配合によりカット (頭が臀針) 及びオーデニール (頭が臀針) 及びオーデニール (頭が臀針) 教護 類に合

日ますの夕刊はんかな。はんかな。

(1)

大阪十三 高橋盛大館製薬町













農林省水產試驗場創製 ビタミンA·D+B2+ホルモン・造血素

國體の本義、未だ透徹せず 半島統治根本方針を闡明

告げて本總督の期する所を解總督の重任に承く。乃ち

朝野尚未だ十分ならざる

米船二隻を撃沈破

戦は脈然の

「南支 戦線 ●〇 特電】 窓める

調印を見るに至うと 関印を見るに至うと

科瓜斯の特許資源

O NH CSOC'H

津と天 役 ふど 瓜 來 かう 粉 の

(2)

▲天瓜粉に優る新高級撒布劑

無量の感慨、晴れの京城1

出述へた場帯職以上の人たちから

フ級表をより置けよう―との背後 すら様くてあるのだづた な作品では歌解的でうち選てる心。 源への者のうちには決意整備の滅。 原の者のうちには決意整備の滅。 原の者のうちには決意整備の滅。 原の者のうちには決意整備の滅。 原の者のうちには決意整備の滅。 原のも過ぎを表するのだ。出一る作品であることが必要をが、 小國民から科學玩具を募集 ら學ぶ

| 日から記念日常日の七日宗総力観盟と共催のもとに七月

總督に驛前の歡迎

全鮮一齊心記念行事

の職職概念、ラジオドラマ、の職職概念、ラジオドラマ、の指導のもとに多彩にもポ大の指導のもとに多彩にもポ大

治りの早い家庭學! 一次中の実際にも

ぬらきてく体に庭実施の井モカリトイパンボリ は底力が見 は

ツメリキの井モ力



治 色日へなる 一年七九二階

・レントゲン、超短波、太陽 院 護渡シ 二六0八,六六五一圆易本話電 八三六一 山竜話電 电长语支



血液を浄化して」 「循環を良くすれば、どうる が原因

朝

事

横着者でネと車中朗か

わきが



"核婚弱質 目丁二路雖城京 3 責任のある 電球です! 電球の效率を劃期的に高 めた、二重コイル繊條電 球は撃社の發明です……

)の別れを賦む賦行會 一 獣に盛つた苦人の合唱が次々と | 時までもいつまでもむませい といめ月泉城明治町の壁 | が概されて中國資年の意義をこの | 駒肚なりズムを必察れの復職に何.

早くは猛活動始まる

病全治 收款 有全治 收款

サー カルを カ *

商

店

制機舎の制機舎の

ら强化内

部

スチールギター写像 樂しい家庭を 0)

くらさくら 江戸日本橋 海 の 歌

電話龍山 示院

隨入 意院

....... C.

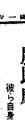
A

農民劇も必要な 彼ら自身にやれるものがよい

【養山】ブラウ製法といふのが賦べるさうのやありませんか て

文学生の語

名譽級の制





勝戦になった、獅よりもそれを酸してたのは『小磯

風薫る一すが町の家古く 発加 井上 日本 事 明 世 旗手

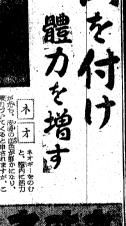
からみ合ふ松の走り

【青山】一棚十大畑五合で、その【青山】その意味では、今行つて





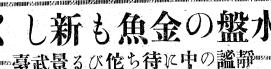














睨んでた通 景武瑩官邸の風景 新總督を迎へる

髪につながる廿年のえにし

職人。金さん。床屋談義

配給網單純化衣料衞生用品

んさ即太金枝三

は下は金太郎さんの小磯総督讃美 の一職

四十五職に達したが、側重報音の

て笑うた。



産業の開發に快報 スマトラの大發電所工事順調

れで安心ですりかと心配でしたが、

『汝は答を撒ふことを知らんか。足下は、どこの何者だ』 まづ膿を露せ。その後に天下の大 『主人かもないもんだ。いつたい 最新卓効の



矢野橋村(畫) 吉川英治(作)











